

西濃に広がる あったかい 言葉かけ

西濃教育事務所 教育支援課 学校地域連携係

令和7年 11 月 11 日 / No.3

「頑張ってること、知ってるから」

5 月に、バスケの春季大会がありました。私のチームは、試合に負けてしまって、8 位で終わってしまい、私は悔しくて泣いていました。すると、顧問の先生が話しかけてくれました。「頑張ってること、知ってるから。」その言葉を聞いた時、頑張りを知ってくれた人がいたんだと、嬉しくなって涙が止まりませんでした。今でも、その言葉を思い出すと、涙が出てきます。先生が声をかけてくれたあの日から、その言葉は私の宝物です。

「ありがとう」の力

息子は言いすぎなくらい「ありがとう。」と言う。でもいやな気持ちにはならなくて人に感謝できる素敵な言葉だと思います。「ありがとう。」の言葉がまた新たな「ありがとう。」を連れてきます。これからもたくさんの人に「ありがとう。」を伝えられるように成長してほしいです。「ありがとう。」は素敵な言葉、優しい言葉、思いやりの言葉。不平不満を言うよりも「ありがとう。」を言いたいです。

「大じょうぶ？」をもう一度

1 年生のときにタイヤとびで遊んでいたから、思わず転んでしまった。そのとき「大じょうぶ？」と声をかけてくれた6年生は、とてもやさしかった。今年、2年生になって同じようなことがあった。1年生の子が、ころんでけがをした。足から血が出ていた。私は、「大じょうぶ？」と声をかけて、ほけんしつにいっしょにいった。6年生のやさしさを思い出して、わたしもやさしくできた。できてよかった。

ぼくのまほうのことは

ぼくの登下校にはサポーターの方が見守ってくれています。学校につくと門の所で「いってらっしゃい」と言って送り出してくれます。雨の日も雪の日もどんな日にも毎日集合場所で「おはよう」と言ってくれます。眠そうな子や大きな荷物がある時は「がんばれ」と励ましてくれます。危ないことをしてしまった時には「ダメだよ」と注意してくれます。家族のように接してくれるサポーターさんの「いってらっしゃい」「おかえり」はぼくにとって学校を頑張る魔法の言葉です。

「だいじょうぶ？ 急いで戻ろう。」

やすみじかにそとであそんでいたから、きゅうにひどいあめがふってきました。6 ねんせいのおにいさんが「だいじょうぶ？ いそいでもどろう。」といってくれました。おどろいてうごけなくなっていたけれど、おにいさんがやさしくはなしてくれて、あんしんしました。

「あったかい言葉かけ県民運動」に西濃管内から応募いただいた作品より紹介させていただきます。